

(平成 24 年 3 月試験研究業務月報)

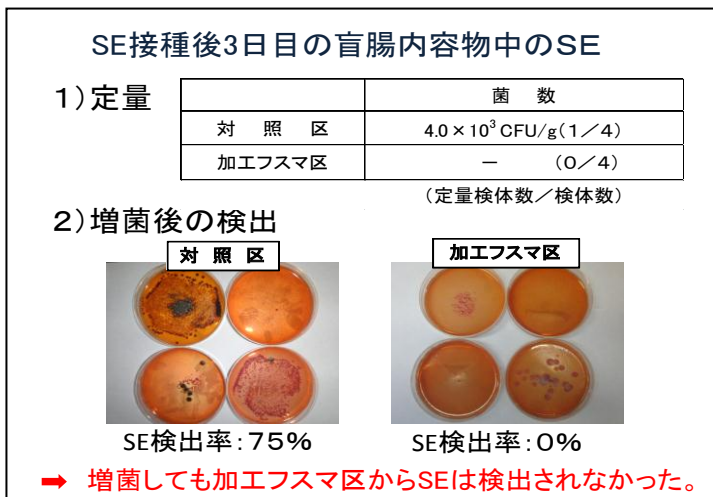
試験研究課題：鶏のストレス低減飼養管理技術の開発

研 究

加工フスマを利用した新たなサルモネラ抑制技術に高い関心

－研究成果を日本家禽学会 2012 年度春季大会で発表－

3 月 30 日、名古屋大学で開催された日本家禽学会で「希酸加水分解したフスマ（加工フスマ）給与による産卵鶏のサルモネラ感染抑制」について発表しました。鶏は、強いストレスを受けると病気への抵抗力が低下し、食中毒細菌の一種であるサルモネラに感染し易くなりますが、「猛暑による強いストレスを受けている鶏に当センターが開発した加工フスマを給与すると、ビフィズス菌の増殖により盲腸内 pH が低下するため、サルモネラ感染が抑制できる。」という発表内容に参加者からの高い関心が集まりました。



加工フスマを給与した区では、
経口接種したサルモネラ (SE) が鶏
の盲腸内から検出されなかった。



研究成果を発表する当センター職員

畜産センター

(平成 24 年 3 月試験研究業務月報)

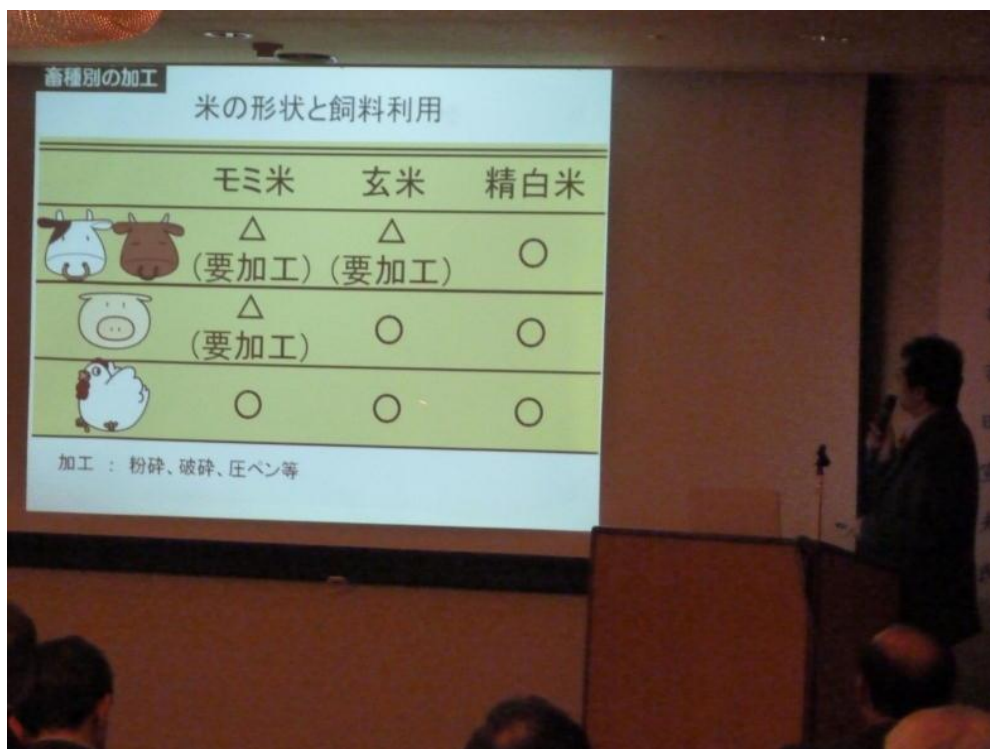
タスクチーム活動テーマ：採卵養鶏への効率的な飼料米供給体制の構築と省力的給与方法の提案

研 究

京都府飼料米シンポジウムでタスクチーム研究成果を発表

当センターは、農林水産技術センター企画室、農業改良普及センターとタスクチームをつくり、飼料米が耕種農家で生産され、畜産農家で利用されるまでの省力的で、かつ、低コストな生産・利用技術体系を提案する活動を行っています。

今回、京都市内で開催された「京都府飼料米シンポジウム」において、収穫後の調製保管費用の試算や牛へ給与する際の処理の有効性などの成果を報告しました。飼料米の生産者を含む約 100 名の参加者からは、生産拡大に向け活発な意見が多く出され、「飼料米」への関心の高さが認められました。



京都府飼料米シンポジウムで報告（3月6日）

肥育試験の仕上がりが順調

畜産センターでは、運営方針の一環として高品質牛肉を生産するため、肥育試験を実施しています。現在、平成 22 年 8 月に試験を開始した去勢牛 4 頭(父は種雄候補牛「玉碇 218」)は 29 か月齢となり出荷予定の 5 月まで残り 2 か月となりました。4 頭の平均体重は 857kg、肥育期間(86 週)の一日当たりの平均増体重は 0.93kg で、当センターが過去に行った肥育試験よりも重くなっており、種雄候補牛「玉碇 218」の増体能力の高さが伺えます。



定期的に牛体の洗浄やブラッシングをしています

期待育種価情報を提供し子牛せり市を支援

畜産センターでは、購買者が子牛を購入する際の情報として、子牛を約 2 年間肥育し出荷する際の枝肉の脂肪交雑や重量が推察できる期待育種価を算出し、提供しています。3 月に開催された子牛せり市の取引頭数は 115 頭、平均価格は 430,107 円(税込)で、その内、脂肪交雑と枝肉重量の期待育種価がともに上位 1/4 以上の子牛 11 頭は、平均 458,468 円(税込)と高値で取引されており、購買者が期待育種価情報を参考にされていることが証明されました。



繫留されせりを待つ和牛子牛

京都府子牛せり市（3月）の子牛の期待育種価と販売価格		
子牛の期待育種価	取引頭数(頭)	平均販売価格(円)
脂肪交雑、枝肉重量ともに上位1/4以上	11	458,468
脂肪交雑、枝肉重量どちらかが上位1/4以上	19	438,458
脂肪交雑、枝肉重量どちらとも上位1/4未満	12	413,438
期待育種価が判明していないもの	73	426,401
全体	115	430,107

牛尿からリンを回収するプロジェクト研究への助言・指導

民間企業と京都大学の研究グループは、平成 23 年度から京都府の公募事業(京都府産業廃棄物発生抑制等促進事業)を活用して「牛尿からリンを回収するプロジェクト研究」に取り組んでいます。この度、この研究グループから助言要請があり、当センターは養豚場排水中のリンをリン酸塩化合物(MAP)として回収する「リン低減技術」を紹介しました。水の汚れのもとになるリンの回収技術が、枯渇資源でもあるリンの回収技術として活用されることが期待されます。



酪農家も招き解決すべき課題を検討

(平成24年3月業務月報)

情報

黒毛のヒツジが産まれました

3月5日、コリデール種で黒色の子ヒツジが産まれました。

コリデール種は、白い皮膚に白い毛が伸びる品種ですが、ごくまれに黒毛の個体が産まれます。当场でも珍しく、このまま毛色が変わることなく成長すれば、天然で黒色の羊毛が生産できます。

4月中旬にオープンする予定の碓高原ふれあい広場で、この黒いヒツジが人気者になり、来訪者の増加に貢献することを期待しています。



お母さんに寄り添う子ヒツジ

畜産センター
碓高原牧場

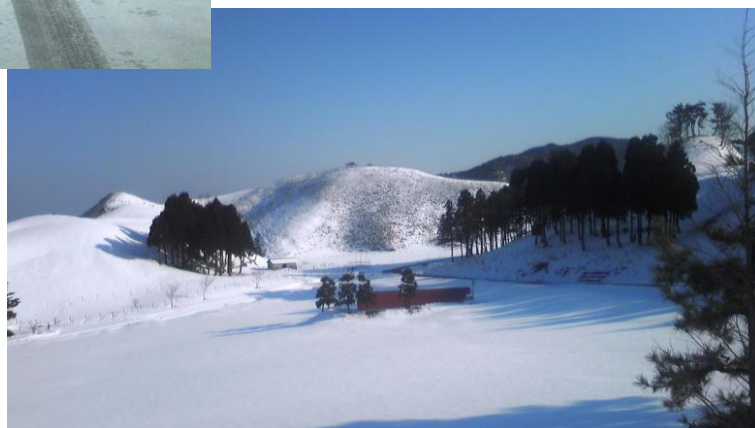
3 月下旬に季節はずれの積雪

3 月 26 日、碓高原牧場では 18cm の雪が降り、季節はずれの除雪を行いました。近年は、年によって降雪量が多かったり少なかったり、また、3 月下旬に大雪が降るなど異常な降雪があります。

今年度は、1 日の最多降雪量が 76 c m、最大積雪量が 199 c m を記録するなど雪の多い年でしたが、牧柵の修理など、春を迎える準備を着々と進めています。



除雪後の通勤道路



真冬のような牧場風景（3 月 27 日）